

建設業労働災害防止協会広島県支部長 殿

広島労働局長



建設業における労働災害防止対策の推進について（要請）

労働基準行政の推進につきましては、平素からご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、平成 29 年における広島県内の労働災害の死亡者数は、7 月 21 日現在で 17 名となり、昨年 1 年間の死亡者 18 名に迫る大幅な急増となっており、極めて憂慮すべき状況にあります。

とりわけ、建設業においては、昨年 1 年間の死亡者が 4 名であったのに対し、本年は半年を過ぎた段階で既に昨年 1 年間と同数の死亡者が発生しています。また、本年の死亡災害の内訳を見ますと、従来型の交通事故 2 件、墜落・転落災害 1 件、熱中症 1 件となっています。

貴協会におかれましては、会報、会合等関係事業者が参集する機会などにおいて、傘下の会員事業場に対し、下半期の重点的な取組をご周知いただくとともに、業界一体となって、特に下記重点事項に取り組んでいただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

記

1 墜落・転落防止対策

足場に係る改正労働安全衛生規則の円滑な施行を中心とした墜落・転落災害防止対策の一層の徹底

2 交通労働災害防止対策

「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づく安全対策の推進

3 熱中症予防対策（近年の発生概要は別添参照）

ア 暑さ指数（WBGT 値）が基準値を超えると予想される場合、作業時間の見直し及び単独作業の回避

イ 異常時の措置を定め、労働者に周知

広島労働局管内における熱中症による死亡災害の概要

(平成 19 年から平成 29 年)

| 区分 | | 災害発生状況 | |
|-------|-------------|--|--------|
| 発生年月日 | 平成 19 年 8 月 | <p>被災者は建屋解体作業の補助作業中、体調不良により休憩していた。数分後に身体が震えた状態で意識消失となったため病院に搬送したが、翌日死亡した。</p> <p><u>雇入れ時の健康診断の実施なし。休憩と水分補給に問題なし。前日は体調不良により早退。気温 34℃・湿度 65%、現場は日陰がなく直射日光を受けながらの作業。</u></p> | |
| 業種 | 建設業 | | |
| 被災者 | 性別 | | 男 |
| | 年齢 | | 30 代 |
| | 職種 | | 解体工 |
| | 発生時刻 | 15 時 45 分 | |
| 経験年数 | 5 年未満 | | |
| 発生年月日 | 平成 20 年 6 月 | <p>被災者は船舶機関室内の掃除と機器養生の補助作業等を実施していた。作業終了後、幻覚とけいれん症状が現れたため病院に搬送したが、6 日後に搬送先の病院で死亡した。</p> <p><u>塩分補給の対策なし。雇入れ時に熱中症の教育なし。気温 25℃・湿度 92%であり、体温調節が十分でなかったことも影響。</u></p> | |
| 業種 | 造船業 | | |
| 被災者 | 性別 | | 男 |
| | 年齢 | | 40 代 |
| | 職種 | | 塗装 |
| | 発生時刻 | 18 時 00 分 | |
| 経験年数 | 5 年未満 | | |
| 発生年月日 | 平成 22 年 8 月 | <p>被災者は間口 8.8m、奥行き 18m の平屋建て作業場の屋内でヤスリ掛け作業を行っていたが、口から泡を吹きはじめ等の症状が現れたため病院に搬送したが、翌日死亡したもの。</p> <p><u>窓はすべて開放していたが、無風状態であり通風が不十分。水分摂取・熱中症教育も不十分。気温・湿度は不明。</u></p> | |
| 業種 | 機械器具製造業 | | |
| 被災者 | 性別 | | 男 |
| | 年齢 | | 40 代 |
| | 職種 | | 研磨 |
| | 発生時刻 | 16 時 30 分 | |
| 経験年数 | 20 年以上 | | |
| 発生年月日 | 平成 27 年 8 月 | <p>被災者は土木工事現場において、車両等の交通誘導業務を行っていたが、体調不良の様子につき日陰で休憩させた。約 10 分後に様子を見に行ったところ、倒れていたため病院に搬送したが、当日の夜死亡したもの。</p> <p><u>塩分補給等の対策あり。気温 34℃・湿度 45%程度。災害発生前日は、別の場所で午前 3 時まで警備業務に従事。睡眠不足による疲労も窺われる。</u></p> | |
| 業種 | 警備業 | | |
| 被災者 | 性別 | | 男 |
| | 年齢 | | 50 代 |
| | 職種 | | 車両等の誘導 |
| | 発生時刻 | 13 時 50 分 | |
| 経験年数 | 5 年未満 | | |
| 発生年月日 | 平成 29 年 7 月 | <p>被災者は屋根上で金属製スレートカバーを運搬する作業を行っていたが、当該作業が終了し、地上にて点呼を行ったところ、屋根上で意識を失った被災者が発見されたもの。</p> <p>【詳細は調査中】</p> | |
| 業種 | 建設業 | | |
| 被災者 | 性別 | | 男 |
| | 年齢 | | 20 代 |
| | 職種 | | 配管工 |
| | 発生時刻 | 16 時 30 分～17 時 40 分頃 | |
| 経験年数 | 5 年未満 | | |